



第1回学校運営協議会を開催しました

5月9日(金)、校長室において第1回学校運営協議会を開催しました。今年度4名の新規委員を迎え、10名の委員でスタートしました。今回の主な内容は、委員の任命及び委員の自己紹介、令和7年度学校経営方針の承認でした。

最初に、本年度の委員の皆様の下野市教育委員会からの任命書をお渡ししました。その後、会長、副会長を選出し、組織作りをしました。本校の学校運営協議会は、石北小スクールボランティアとして、「環境整備支援部」・「学習支援部」・「図書活動支援部」・「防犯支援部」の4部に分かれており、各委員の皆様に担当部を決定していただきました。

石橋北小学校学校運営協議会運営規定と下野市の運営マニュアルを確認し、共有しました。学校運営協議会は、学校との双方向の信頼関係を深め、**地域・家庭及び学校の三者が目標やビジョンを共有し、一体となって子どもたちを育てる地域の子を地域で育てることを具体化**することで、「**地域とともにある学校**」づくりを目指す仕組みです。

その後、校長から本年度の学校運営方針について説明し、委員の皆様から、貴重なご意見をいただき、方針の承認をしていただきました。

委員の皆様方と共有し、家庭・学校・地域が一体となり、チームとなって取り組んで参ります。

学校運営協議会の委員を紹介します

【敬称は、省略します】

会 長	大塩 宗里	図書活動支援部
副 会 長	青柳 庄一	学習支援部
☆地域コーディネーター		
委 員	石嶋 和夫	防犯支援部
委 員	江原 浩之	環境整備支援部
委 員	野口 文夫	環境整備支援部
委 員	寺内 利之	防犯支援部
委 員	渡辺 佳通	学習支援部
委 員	高山 由香利	図書活動支援部
校 長	齋藤 佳代子	
地域連携教員	澤田 貴典	
地域学校協働活動推進員	坪山 仁	
	海老原 忠	
事務局 教頭	五月女 穰	
教務主任	澤田 貴典	



委員の皆様と全教職員との交流会を行いました



「地域と共にある
これからの小学校
の姿とは」を共有
しました。
各グループとも
地域の皆様から
温かい応援を
いただきました。

「信頼される学校づくり」を推進して、教育活動に取り組んでまいりますので、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

保護者の皆様には、11月～12月頃学校の取組について「アンケート調査(学校評価)」をお願いいたしますが、ご心配やお気付きの点がございましたら、担任をはじめ、職員だれでも差し支えありませんので、いつでも、ご遠慮なくお声かけください。

5月9日(金)に行われた「学校運営協議会」で、今年度の学校経営の基本方針について説明し、承認いただいたものを次のページに掲載します。議事録については、随時学校のHPに掲載いたします。ご覧ください。

令和7年度 石橋北小学校 学校経営グランドデザイン

国・県の動向	市の動向	児童・家庭・地域の実態
日本国憲法・教育基本法・学校教育法 学習指導要領 栃木県教育振興基本計画2025 下都賀地区学校教育の重点	下野市学校教育計画 当たり前のことを当たり前に行う教育の 実践（ファミリーエド野教育運動の推進）	素直で明るく真面目である。自主的に 考えて実践する力に乏しい。家庭・地 域共に学校教育に理解があり、協力的 である。

地域とつながり社会に貢献できる子（石橋中学校区めざす子ども像）

教育目標

心豊かな子

進んで学ぶ子

健康でたくましい子

目指す児童像

豊かな心を持ち
助け合う子ども

自ら考え
進んで学ぶ子ども

明るく健康で
たくましい子ども

本年度の基本方針

認め合い・励まし合い・助け合う学級を基盤とした学校づくり

目指す教師像

子どものために何ができるか常に考え実践する教師

重点目標

基本的な生活習慣や規範意識を育 てると共に、自己有用感や社会性を 醸成し、豊かな心を育てる。	学ぶ意欲を高め、知識・技能を習得し、 課題解決するために必要な思考力、判 断力、表現力等を育成し、学ぶ力を育 む。	体力の向上と健康安全の保持増 進を図り、健やかな体をつくる。
--	--	-----------------------------------

学校経営の方針

- 1 認め合い・励まし合い・助け合う学級を基盤とした学校づくりに努める。
- 2 教職員としての自覚と使命感をもって、それぞれの特性を生かし、協働体制で教育目標の具現化を目指す。
- 3 深い児童理解に基づき、児童の望ましい生活習慣や規範意識、人間性を高める。
- 4 ICTを効果的に活用しながら、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を目指し、計画的に校内研修を行い、授業力の向上を図る。
- 5 地域とともにある学校づくりを推進する。

学校課題 「主体的に学び、高め合う児童の育成～自己肯定感を高め、豊かな表現力の創造をめざして～」

	「心の教育」の充実	「確かな学力」の定着	「ねばり強く取り組む力」の育成
具 体 策	① 基本的な生活習慣や規範意識を育てる。 ・児童主体による活動 3A運動の実践 ・家庭や地域と連携、実践 ② 自己有用感と社会性を育成する。 ・「認め合い・励まし合い・助け合う」学級集団の形成（人間関係づくり） ・児童主体の縦割り班活動（計画、実践、振り返り） ・児童の活躍の場の拡充 ③ 体験を通して、児童の主体性や豊かな心を育成する。 ・ふれあい学習の推進 ・考え議論する道徳授業の実践	① 学びに向かう力や意欲の向上を図る。 ・授業改善の継続 ・「学び合い」のよさを実感できる学習活動の工夫 ② 生きて働く知識・技能の習得を図る。 ・ねらいとまとめ、振り返りの実践と一体化 ・個に応じたきめ細かな指導による学力の保障 ③ 未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力を育成する。 ・言語活動や体験活動の充実 ・自分の考えを書く活動の習慣化	① 体力を向上する。 ・楽しく活動量のある体育授業や業間活動の展開 ・縦割り班活動、業間活動、外遊び等を活用した体力づくり ・学習カードの活用や体育授業の工夫改善 ② 健康安全の保持増進を図る。 ・基本的な生活習慣の確立 ・早寝・早起き・朝ごはん・メディアコントロールの推進 ・家庭との連携 ・食育の推進（栄養教諭による食育授業の実施） ・感染症対策、避難訓練・安全教室の実施（「自分の身は自分で守る」意識を涵養する。）
	「信頼される学校づくり」の推進 ① 同僚性を生かした教員の指導力の向上。 ・指導力向上を目指した計画的な研修会の実施 ・ICT機器の活用 ・認め合い助け合う教職員集団 ② 個々の児童への適切な教育的支援を行う。 ・問題の未然防止 ・報連相・確認の徹底 ・保護者とのより良い信頼関係づくり ③ 家庭・地域、関係機関との連携を図る。 ・学校支援ボランティアの活用 ・学校運営協議会の推進 ・家庭教育学級の充実		